

平成30年8月21日(火) 17時に「両筑平野用水管理所渇水対策本部」及び「朝倉総合事業所寺内ダム管理所渇水対策本部」を設置します。今後、水源情報の関係者間共有を強化し、迅速かつ的確な渇水対応を行ってまいります。

<渇水対策本部の設置理由>

①筑後川水系小石原川及び佐田川流域では、「平成30年7月豪雨」以降の降雨が例年を大きく下回っており、河川流量が減少しています。

このため、水資源機構が管理する江川ダム・寺内ダムでは、両筑平野受益地に対し、農業用水を継続的に補給しており、農業用水分の貯水量が減少している状況です。

【8月21日(火)午前0時現在】

	有効貯水量(貯水率)	うち農業用水分貯水量(貯水率)
江川ダム	15,721千m ³ (65.5%)	3,956千m ³ (37.1%)
寺内ダム	5,599千m ³ (62.2%)	599千m ³ (15.0%)
合計	21,320千m ³ (64.6%)	4,555千m ³ (31.0%)

②今後もまとまった降雨がなければ更に厳しい状況となるため、農業用水の利水者である両筑土地改良区においては、節水対策のため8月21日(火)に干ばつ対策特別委員会を設置しました。

水資源機構の渇水情報は、本社ホームページ(<http://www.water.go.jp>)にて随時更新しています。



平成30年8月21日

みずしげんきこう
独立行政法人水資源機構



(江川カモ)



両筑平野用水管理所
朝倉総合事業所寺内ダム管理所

配付先

西日本新聞朝倉支局
読売新聞筑紫支局
毎日新聞福岡南支局
朝日新聞太宰府支局



(みなちゃん&カモッピー)

問い合わせ先

独立行政法人水資源機構

(江川ダムに関する事) 両筑平野用水管理所 所長代理 諸石

住所: 福岡県朝倉市江川1660-67

電話: (0946) 25-0113

(寺内ダムに関する事) 朝倉総合事業所寺内ダム管理所 所長代理 松浦

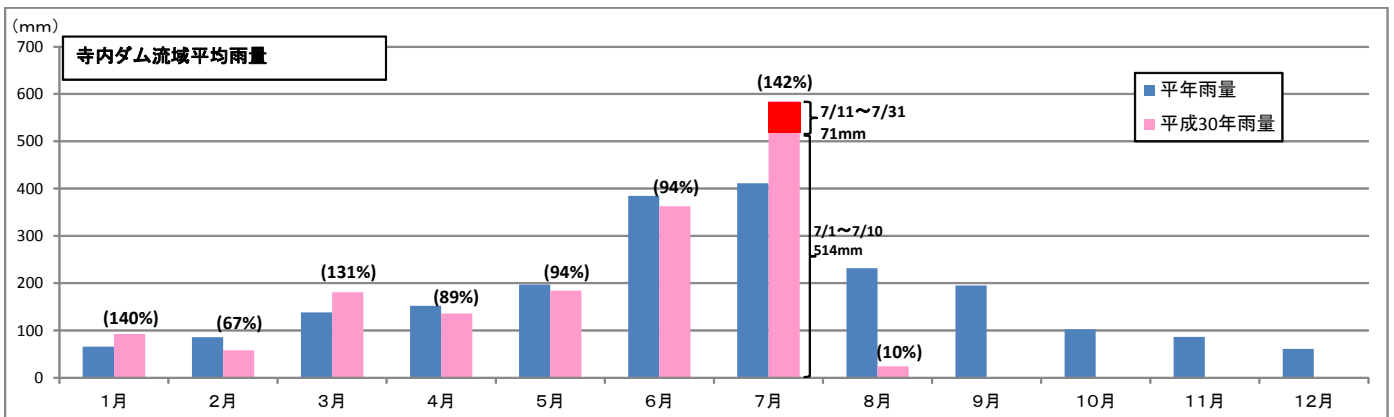
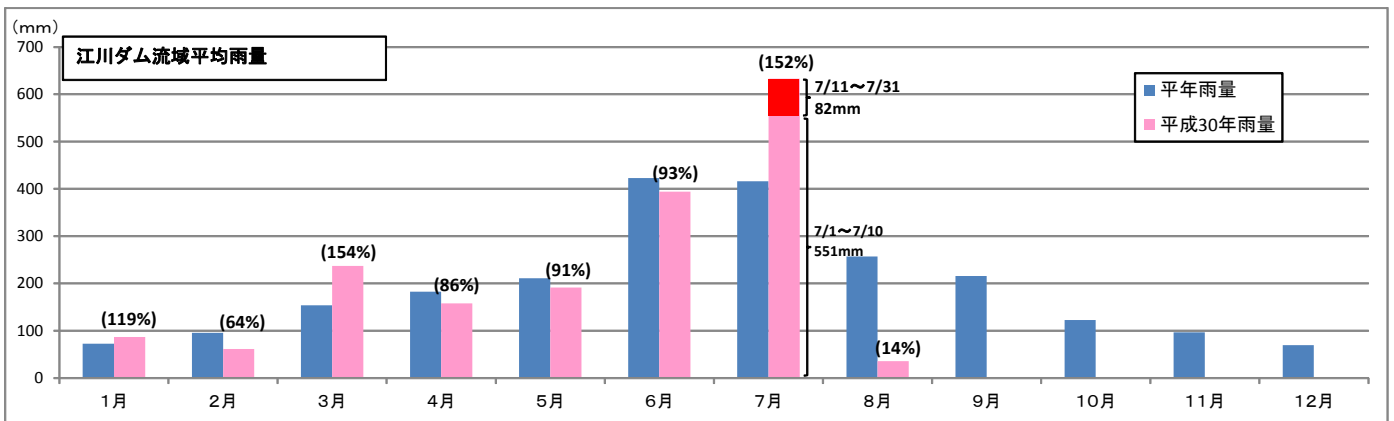
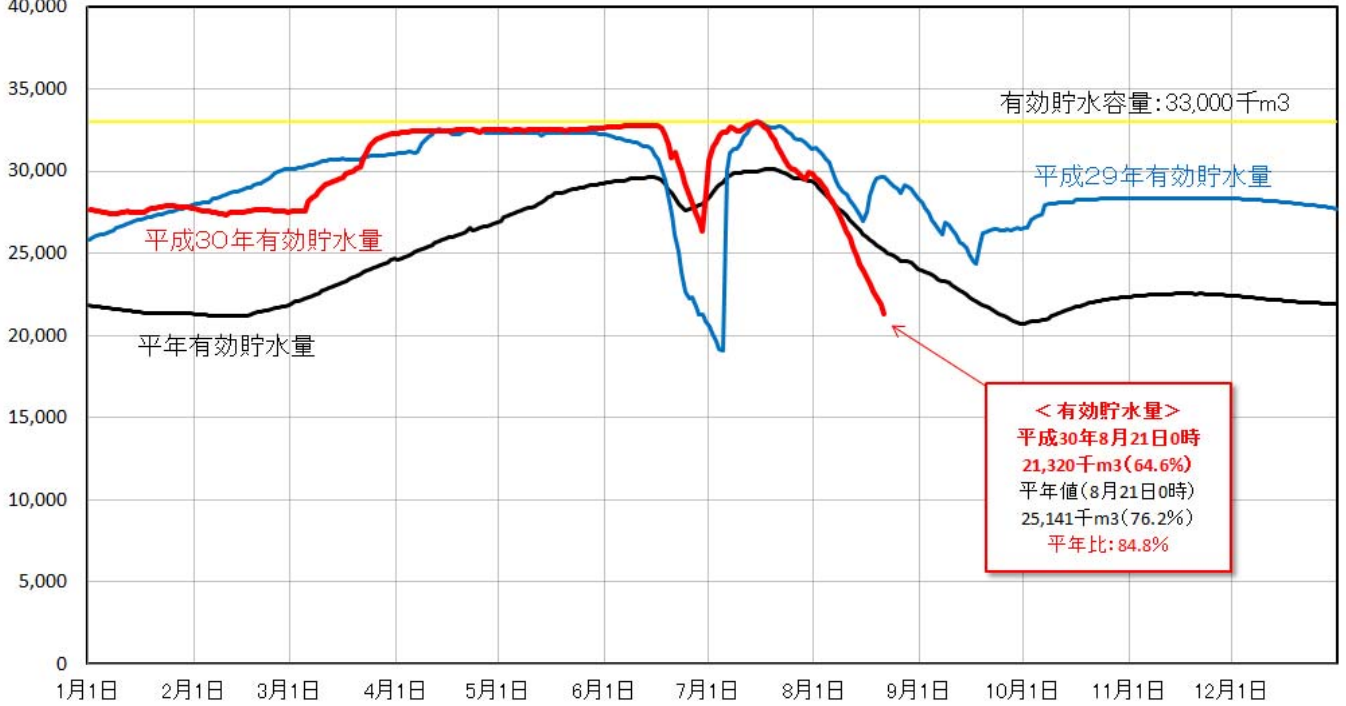
住所: 福岡県朝倉市荷原1516-6

電話: (0946) 22-6713

HP <http://www.water.go.jp/chikugo/ryochiku/index.html>
<http://www.water.go.jp/chikugo/terauchi/index.html>
twitter https://twitter.com/jwa_egawadam
https://twitter.com/jwa_terauchi

貯水量
(千m³)
40,000

江川・寺内ダム合計有効貯水量



- ※1 平年雨量は、江川ダムは昭和50年～平成29年の平均値、寺内ダムは昭和53年～平成29年の平均値である
- ※2 () 書きは平年比を示す
- ※3 平成30年の降雨量は、8月20日24時までのデータである

江川・寺内ダムの貯水池状況

<江川ダム>

平成30年6月7日 0時時点
貯水量 23,792 千 m^3
貯水率 99.1 %
貯水位 224.69 m

ほぼ満水状態の江川ダム



平成30年8月21日0時時点
貯水量 15,721千 m^3
貯水率 65.5%
貯水位 214.11 m

現在の江川ダム



<寺内ダム>

平成30年6月15日 0時時点
貯水量 9,000千 m^3
貯水率 100 %
貯水位 121.50 m

利水容量が満水状態の寺内ダム



平成30年8月21日0時時点
貯水量 5,599千 m^3
貯水率 62.2 %
貯水位 115.10 m

現在の寺内ダム

